

介護殺人事件が起きる背景、
介護の当事者が直面する困難、
これらを専門家視点で見つめ、
望ましい介護者支援のあり方
や虐待防止のシンポジウムを
行います。

大分県弁護士会・九州弁護士会連合会共催

九井連高齢者・障害者の支援に関する拡大協議会
「介護者支援と高齢者虐待防止～介護殺人などを素材として」

日時 令和5年10月21日(土)
13:30～17:00(開場13:00)
場所 J:COMホルトホール大分 大会議室
(大分市金池南一丁目5番1号)
定員 会場250名
(Zoom配信併用、Zoom参加100名まで)
※インターネット接続状況によっては音声や映像
が乱れることがあります、予めご了承ください。
対象者 高齢者の介護や支援に携わる全ての方々
参加費 無料
下記予約フォームからお申し込みください
(〆切 令和5年10月5日)
※会場参加の場合は事前予約なしでもご参加いただけます。



<https://forms.gle/w8WSzkzJyrZhminU9>

- 基調講演 「介護殺人の実態と予防に向けた視点～支援者のみなさまにご留意いただきたいこと」
湯原 悦子 氏 (日本福祉大学社会福祉学部教授)
- 事例報告 「何故彼らは介護殺人に至ったのか その苦しみと困難の現実
～刑事弁護の観点から」
村井 宏彰 弁護士 (東京弁護士会)
- シンポジウム 「介護者にとって望ましい支援のありかたについて」
コーディネーター: 田中 利武 弁護士 (大分県弁護士会)
助言者: 湯原 悦子 氏・村井 宏彰 弁護士
報告者: 越智 礼子 氏 (大分地域包括支援センター)
後藤 清美 氏 (公益社団法人認知症の人と家族の会)